

2007年10月19日

小田急電鉄株式会社  
東京地下鉄株式会社

## 特急ロマンスカーの東京メトロ線への直通運転計画について

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：大須賀 頼彦）と、東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区 社長：梅崎 壽）では、特急ロマンスカーの東京メトロ千代田線への乗り入れについて合意しておりましたが、このほど運転計画の概要が決定しましたのでお知らせします。東京メトロ線内での座席指定制特急の運行は初めてのものです。

小田急電鉄では、メトロ線内の運行に必要な設備を備えた新型ロマンスカー・MSEを製造し、2008年3月より直通運転を開始する予定です。

特急ロマンスカーの直通運転計画の概要は、下記のとおりです。

### 記

1. 実施時期 2008年3月（予定）
2. 直通運転計画の主なポイント（資料1参照）

#### (1)停車駅

【千代田線内】「北千住」「大手町」「霞ヶ関」「表参道」の4駅です。

【小田急線内】現在の特急停車駅に加え、新たに「成城学園前」に一部の列車が停車します。

#### (2)平日ダイヤ

通勤・会社帰りに便利な時間帯に、「ビジネス特急」を計4本（上り1本、下り3本）運転します。

【朝方】本厚木発⇒北千住行き（上り1本）

【夕方】北千住発⇒唐木田行き（下り1本）

【夜間】大手町発⇒本厚木行き（下り2本）

#### (3)土休日ダイヤ

日中に北千住⇄箱根湯本間を直通で結ぶ「観光特急」ほか、計6本（上り3本・下り3本）を運転します。

【朝方】本厚木発⇒北千住行き（上り1本）

【日中】北千住⇄箱根湯本間（上り2本、下り2本）

【夜間】北千住発⇒本厚木行き（下り1本）

#### (4)有楽町線への乗り入れ（臨時列車として、土休日のうち年間30日程度）

【土休日・朝方】年間30日程度、北千住行きの列車が、有楽町線への連絡線を経由し、新木場まで乗り入れます（本厚木発⇒新木場行き）。

【土休日・夜間】同様に年間30日程度、土休日の夜間に運転する本厚木行きの列車についても、始発駅が新木場に変更となります（新木場発⇒本厚木行き）。

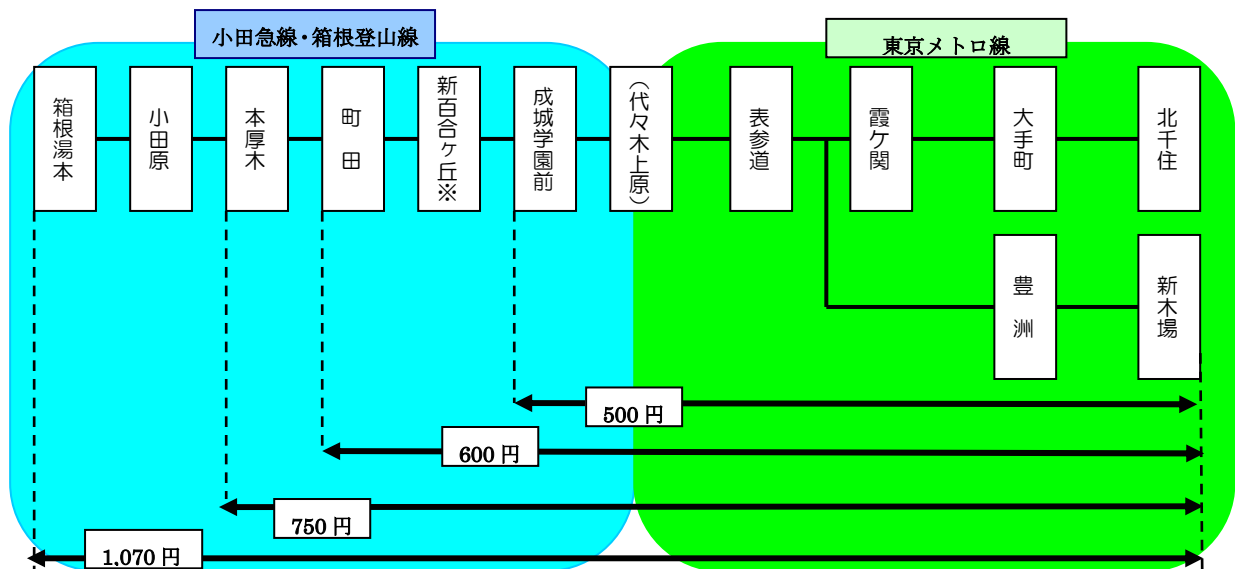
〔千代田線内停車駅：表参道、有楽町線内停車駅：豊洲・新木場〕

### 3. 特急料金（資料2参照）

特急料金については、東京メトロ線内の料金（一律200円※）と、小田急線（一部箱根登山線含む）内の料金の合算額となります。

※東京メトロ線内のみの乗車はできません。

【特急料金一例】 大手町・霞ヶ関～町田 600円、北千住～箱根湯本1,070円



※小田急多摩線内の停車駅「小田急永山」「小田急多摩センター」「唐木田」についてもすべて600円です。

### 4. 列車名

#### (1) 「メトロホームウェイ」

夕方18時以降にメトロ線⇒小田急線に乗り入れる下り列車（平日3本、土休日1本）。

#### (2) 「メトロはこね」

土休日にメトロ線⇔箱根湯本駅を運転する列車（土休日上り2本・下り2本）。

#### (3) 「メトロさがみ」

朝方に小田急線⇒メトロ線に乗り入れる上り列車（平日1本・土休日1本）。

#### (4) 「ベイリゾート」※

土休日に小田急線⇔有楽町線新木場駅を結ぶ列車（土休日上り1本、下り1本）。

※「ベイリゾート」は、土休日に運転する「メトロさがみ」「メトロホームウェイ」が、年間30日程度、メトロ線内の発着駅を千代田線北千住駅⇒有楽町線新木場駅に変更して運転する臨時列車です。

### 5. 特急車両（資料3参照）

(1) 名称 ロマンスカー・MSE (Multi Super Express)

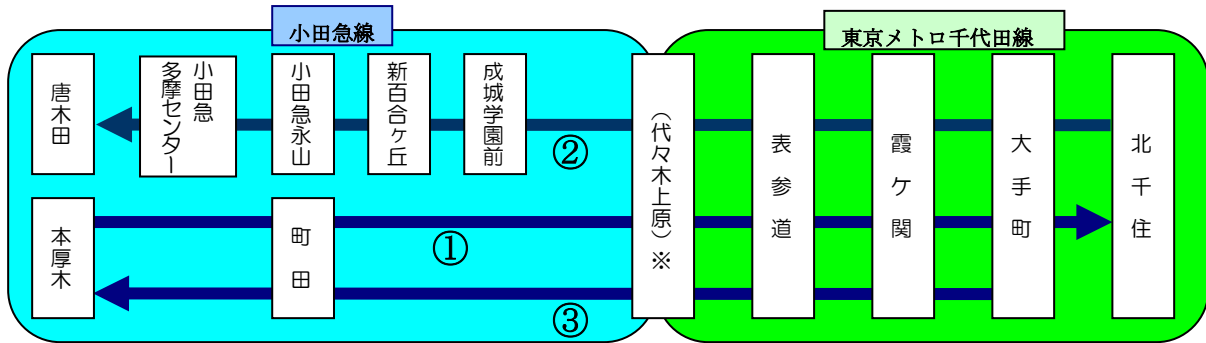
(2) 編成 6両編成2本、4両編成1本 ※6両編成と4両編成の併合・分割が可能です。

(3) 定員 10両編成時578名（6両編成：352名、4両編成：226名）

(4) デザイン設計 岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表 岡部憲明氏（神戸芸術工科大学教授）

## ●平日ダイヤ

通勤・会社帰りに便利な時間帯に、「ビジネス特急」を計4本（上り1本、下り3本）運転します。

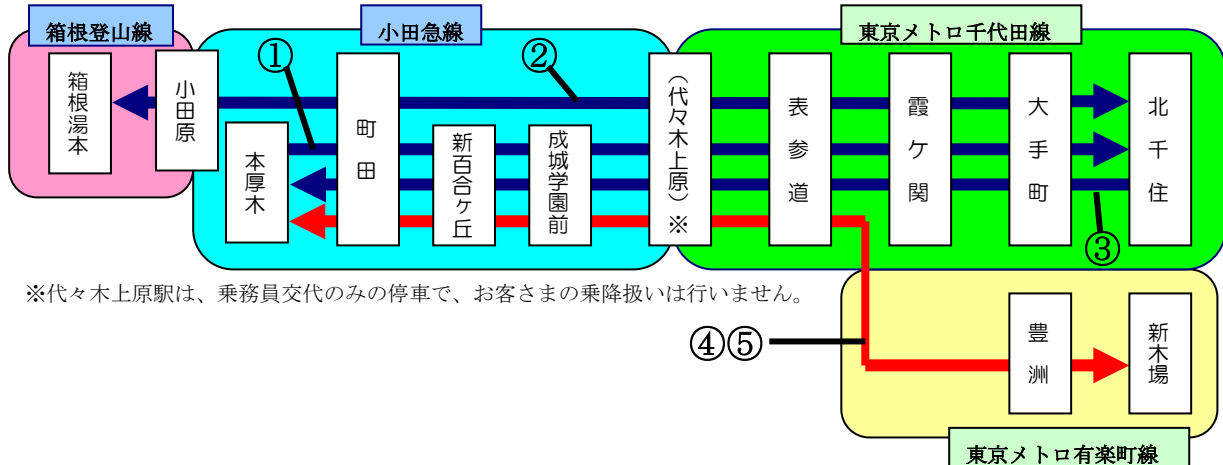


※代々木上原駅は、乗務員交代のみの停車で、お客さまの乗降扱いは行いません。

- ①【朝方】本厚木発⇒北千住行きの上り列車「メトロさがみ」を1本運転します。  
〔停車駅：本厚木、町田、表参道、霞ヶ関、大手町、北千住〕
- ②【夕方】北千住発⇒唐木田行きの下り列車「メトロホームウェイ」を1本運転します。  
〔停車駅：北千住、大手町、霞ヶ関、表参道、成城学園前、新百合ヶ丘、小田急永山、小田急多摩センター、唐木田〕
- ③【夜間】大手町発⇒本厚木行きの下り列車「メトロホームウェイ」を2本運転します。  
〔停車駅：大手町、霞ヶ関、表参道、町田、本厚木〕

## ●土休日ダイヤ

日中に北千住⇄箱根湯本間を直通で結ぶ「観光特急」ほか、計6本（上り3本・下り3本）を運転します。  
なお、臨時列車として年間30日程度、連絡線を使用して有楽町線の新木場まで乗り入れます。



※代々木上原駅は、乗務員交代のみの停車で、お客さまの乗降扱いは行いません。

- ①【朝方】本厚木発⇒北千住行きの上り列車「メトロさがみ」を1本運転します。  
〔停車駅：本厚木、町田、新百合ヶ丘、成城学園前、表参道、霞ヶ関、大手町、北千住〕
  - ②【日中】北千住⇄箱根湯本間を直通で結ぶ「メトロはこね」を2往復運転します。  
〔停車駅：北千住、大手町、霞ヶ関、表参道、町田、小田原、箱根湯本〕
  - ③【夜間】北千住発⇒本厚木行きの下り列車「メトロホームウェイ」を1本運転します。  
〔停車駅：北千住、大手町、霞ヶ関、表参道、成城学園前、新百合ヶ丘、町田、本厚木〕
- ー東京メトロ有楽町線への乗り入れについてー
- ④【朝方】年間30日程度、①の北千住行きの「メトロさがみ」が、連絡線を経由して、有楽町線の新木場駅まで乗り入れる「ベイリゾート」になります。  
〔停車駅：本厚木、町田、新百合ヶ丘、成城学園前、表参道、豊洲、新木場〕
  - ⑤【夜間】同様に年間30日程度、③の本厚木行き「メトロホームウェイ」は、有楽町線新木場駅始発の「ベイリゾート」になります。  
〔停車駅：新木場、豊洲、表参道、成城学園前、新百合ヶ丘、町田、本厚木〕

●特急料金・運賃表（上段＝特急料金・下段＝運賃）

（単位：円）

東京メトロ有楽町線		東京メトロ千代田線				小田急小田原線						箱根登山線	小田急多摩線			
新木場	—	—	—	—	—	—	500	600	600	750	—	—	—	—	—	
	豊洲	—	—	—	—	—	410	500	560	710	—	—	—	—	—	
		北千住	—	—	—	—	500	600	600	750	1070	1070	600	600	600	
			大手町	—	—	—	410	500	560	710	1030	1330	530	560	560	
				霞ヶ関	—	—	500	600	600	750	1070	1070	600	600	600	
					表参道	—	370	460	520	670	990	1290	490	520	520	
						代々木上原	—	500	600	600	750	1070	1070	600	600	600
							340	430	490	640	960	1260	460	490	490	
							—	—	—	—	—	—	—	—	—	
								300	400	400	—	—	300	400	400	
							210	270	400	—	—	—	240	270	270	
								300	400	—	—	—	300	300	300	
								210	300	—	—	—	180	210	210	
									300	600	600	600	—	—	—	
								240	570	870	870	870	—	—	—	
									440	740	740	740	—	—	—	
										500	500	500	—	—	—	
										440	740	740	—	—	—	
											200	200	—	—	—	
											300	300	—	—	—	
												300	300	—	—	
													—	—	—	
													箱根湯本	—	—	
														小田急 永山	300 120	300 150
															小田急 多摩センター	300 120
																唐木田

※東京メトロ線内のみの乗車はできません。

※代々木上原駅での乗車または降車はできません。

●新型ロマンスカー・MSEの概要について

1. 車両形式 60000形
2. 愛称 MSE (Multi<sup>マルチ</sup> Super Express) ※多彩な運行が可能な特急列車の意。
3. 編成 6両編成2本、4両編成1本  
※6両編成と4両編成の併合・分割が可能です。※1両20mのボギー車。
4. 編成定員 10両編成時・・・578名  
(6両編成・・・352名、4両編成・・・226名)
5. 製作費用 約38億円
6. 製作会社 日本車輛製造株式会社
7. デザイン設計 岡部憲明アーキテクチャーネットワーク代表 岡部憲明氏(神戸芸術工科大学教授)
8. 主な特徴

(1)車体外観

- ①先頭車両には、ロマンスカーの伝統である流線型のデザインを採用。
- ②外観の色彩は、地下でも明るさを感じさせる「フェルメール・ブルー※」を基調とし、ロマンスカーの継承してきたカラーである「バーミリオン・オレンジ」の鮮やかな帯を窓下の高い位置に配置。  
※17世紀のオランダの画家、フェルメールが作品の中で用いた青色。その美しさは「フェルメール・ブルー」と称えられ、高く評価されています。

(2)居住性

- ①2.3mの天井高の採用など、ゆとりある居住空間を確保。
- ②蛍光灯による間接照明に加えて、電球色のLED式直接照明を採用し、落ち着いた空間を演出。

(3)バリアフリー

- ①車いすやオストメイト※のお客さまにも安心してご利用いただける多目的トイレを設置。  
※人工肛門や人口ぼうこうをお持ちの方。
- ②車いす対応型の座席や車いすスペースを設置。

(4)環境面への取り組み

- ①主電動機(モーター)は全密閉式とするほか、コンプレッサー等各種機器についても低騒音型のものを採用。
- ②アルミ車体による車両軽量化で、走行音・振動を低減。

以上



<小田急ロマンスカー・MSE（60000形）>